



週刊

# こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754  
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>  
共産党控室メール [kyousan@city.yachiyo.chiba.jp](mailto:kyousan@city.yachiyo.chiba.jp)



第301号

2017年1月9日

発行

日本共産党  
八千代市議会議員団

八千代市大和田新田  
312-5

## 「降下訓練始め」に米軍が初めて参加

陸上自衛隊第1空挺団が8日、習志野演習場で実施した「降下訓練始め」の一般公開に、米軍が初めて参加しました。参加した米軍は、沖縄県に駐留する通称「グリーンベレー」と呼ばれる第1特殊部隊群第1大隊の9人です。内戦への介入、破壊工作、特殊潜行、中枢部のかく乱などを任務とする部隊です。「グリーンベレー」をモデルに創設したのが習志野駐屯地に所在する陸上自衛隊特殊作戦群です。危険な特殊部隊にまで日米軍事の連携・一体化は広がっています。

## 「平和都市宣言」が泣いている

日本共産党市議団は4日、秋葉市長に米軍の参加中止を国に働きかけるよう緊急の申し入れを行いました。市長は「防衛は国の専管事項」だとして、「何の問題があるのか」という対応でした。市は米軍の参加について、昨年12月13日に防衛省から打診を受け、21日に米軍に習志野演習場使用を承認する日米合同委員会の合意文書を受け取りました。にもかかわらず市民には一切公表しませんでした。

八千代市は「平和都市宣言」をしています。「調和のとれた人間都市八千代市の実現」は「日本の安全と世界の恒久平和なくしては望み得ないものである」と記しています。市長の姿勢に「平和都市宣言」は泣いているでしょう。

## 習志野演習場の米軍使用は許さない

日本共産党市議団は5日、斉藤和子衆議院議員、船橋、習志野両党市議団とともに、防衛省に説明を求めました。防衛省の担当者は米軍参加の経緯について、「米軍から『日米の連携強化をアピールしたい』との要請があった」と説明しました。米軍は2012年度以降、横田基地や東富士演習場で降下訓練を頻繁に実施し、自衛隊との連携を強化しています。安保法制＝戦争法のもとで「戦争する国」づくりが加速しています。



防衛省に抗議と聞き取り

日本共産党八千代市議団は、戦争法の廃止、木更津駐屯地オスプレー整備拠点撤回、習志野演習場の米軍使用を許さない運動を進め、市民が安心して暮らせる八千代市をめざします。